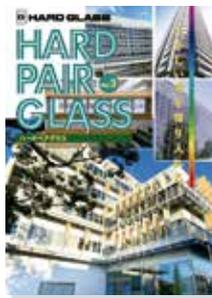


■ 総合ハードグラスドアシリーズ  
(2025.2 印刷予定)



■ 多機能合わせガラス [ラミハード]



■ 優しい光を [ハードペアガラス]



JQA-QMA16376  
JQA-EM7694



MS  
CM009



本社・本社工場(第1・第2工場)

地域未来牽引企業

## ガラスムーブスクリーン Q&A

Q 扉縦・横比と保証する開閉動作の関係を?

A 1:4 保証はドアと同じ3年 部品は1年としています。  
開閉動作は10万回(当社製品試験)の耐久検査をクリアしています。

Q 連続した召し合わせを確保するためには、扉の対角精度・レールの水平施工精度(調整法)が要求されると思いますがどの様に行っていますか。

A 二次 下地から強度・精度を考え図面設計しております。  
尚、召し合わせは、吊車の軸の上下で対角を合わせています。ドア製品検査規格と同等です。

Q 全閉時に扉と扉の隙間の風きり音の問題は今までありませんでしたか? また、対策は?

A 外での使用は2ヶ所です。

1. 某放送局 兵庫県 2004年9月施工
2. 某記念館 山口県 2007年6月施工

この2ヶ所での問題は発生しておりません。(2024.12.20 現在)  
但し、環境下においては劣化等の発生が生じる場合があります。  
室内での施工をお勧めします。



URL <https://hardglass.co.jp>

# ハードグラス工業株式会社



|        |   |  |
|--------|---|--|
| 本社     | 〒664-0831 伊丹市北伊丹7-79                            | Tel.072(784)3671 Fax.072(770)7400  |
| 東京支店   | 〒141-0022 東京都品川区東五反田1-21-13<br>(ファーストスクエア五反田9F) | Tel.03(5420)5911 Fax.03(5420)5912<br>E-mail: hard.tokyo@rice.ocn.ne.jp     |
| 札幌営業所  | 〒069-0833 江別市文京台42-9                            | Tel.011(386)1651 Fax.011(386)1652<br>E-mail: hard.sapporo@eagle.ocn.ne.jp  |
| 仙台営業所  | 〒983-0002 仙台市宮城野区蒲生1-103-15                     | Tel.022(762)7338 Fax.022(762)7339<br>E-mail: hard.sendai@swan.ocn.ne.jp    |
| 埼玉営業所  | 〒336-0034 さいたま市南区内谷2-2-3                        | Tel.048(633)4120 Fax.048(633)4121<br>E-mail: hard.saitama@hardglass.co.jp  |
| 名古屋営業所 | 〒452-0811 名古屋市西区砂原町106                          | Tel.052(307)4680 Fax.052(307)4681<br>E-mail: nagoya.1@hardglass.co.jp      |
| 福岡営業所  | 〒812-0018 福岡市博多区住吉2-16-1<br>(メゾン住吉2F)           | Tel.092(291)6510 Fax.092(282)1030<br>E-mail: hard.fukuoka@galaxy.ocn.ne.jp |

|             |                             |   |
|-------------|-----------------------------|---|
| 本社第1工場      | 〒664-0831 伊丹市北伊丹7-79        | Tel.072(784)3671 Fax.072(770)7400                             |
| 本社第2工場      | 〒664-0831 伊丹市北伊丹7-76-1      | Tel.072(784)3671 Fax.072(770)7400                             |
| 川西工場        | 〒666-0025 川西市加茂6丁目116       | Tel.072(758)9721 Fax.072(758)9725                             |
| 空港第1工場      | 〒664-0844 伊丹市口酒井3丁目3-30     | Tel.072(773)4533 Fax.072(773)4535                             |
| 空港第2工場      | 〒664-0842 伊丹市森本9丁目27        | Tel.072(785)6800 Fax.072(785)6801                             |
| 北伊丹工場       | 〒664-0831 伊丹市北伊丹8丁目126-1    | Tel.072(789)9690 Fax.072(789)9691                             |
| 本社物流センター    | 〒666-0025 川西市加茂6丁目97-1      | Tel.072(756)7077 Fax.072(756)7080                             |
| 北海道物流センター   | 〒069-0833 江別市文京台42-9        | Tel.011(386)1651 Fax.011(386)1652                             |
| 仙台物流センター    | 〒983-0002 仙台市宮城野区蒲生1-103-15 | Tel.022(762)7338 Fax.022(762)7339                             |
| 埼玉物流センター    | 〒336-0034 さいたま市南区内谷2-2-3    | Tel.048(633)4120 Fax.048(633)4121                             |
| 東海物流センター    | 〒452-0811 名古屋市西区砂原町106      | Tel.052(307)4680 Fax.052(307)4681                             |
| 東金物流センター    | 〒283-0048 千葉県東金市幸田867-1     | Tel.0475(71)2971 Fax.0475(71)2972                             |
| 東京物流(恵比須倉庫) | 〒221-0024 横浜市神奈川区恵比須町7-4    | Tel.045(441)3793 Fax.045(461)6547                             |
| (株)ハーディ     | 〒666-0025 川西市加茂6丁目101-1     | Tel.072(755)0500 Fax.072(755)0501<br>E-mail: hard91@dream.com |

※改良のため予告なく仕様を変更することがあります。予めご了承ください。  
※カタログの写真は、印刷の関係上、実物とは多少異なるものもあります。



### 強化ガラスを正しくお使い頂くために〈警告〉

強化ガラスは強度が高く、また万一割れても破片が細かい粒状となり、安全性の高いガラスですが、外力が加わっていない状態で不意に破損することがあります。

#### 強化ガラスの注意すべき特性

##### 1.) 不意の破損の原因

強化ガラスは、ガラスの表面に圧縮応力層があり、それとバランスさせてガラス内部に引張応力層があります。ガラス表面にできた傷が成長して、ガラス内部の引張応力層に達した場合に、外から力が加わっていない状態でも不意に破損することがあります。外部からの傷としては、硬いものなどの衝撃、溶接の火花、風による飛来物によるものがあります。また、ガラス中の引張応力層に残存する不純物の体積変化に起因し、外から力が加わっていない状態でも不意に破損することがあります。

##### 2.) 破損際の形状

- 破損の際は、一瞬にしてガラスの全体が破砕します。  
施工条件によっては、破損時にガラスが脱落することがあります。
- 破片は、ばらばらになることもありますが、破砕しても離れずに大きな塊になることもあります。

##### 3.) 被害発生の可能性

- 近くに人がいた場合、ガラスの破片を浴びたり、頭上から落下してきた破片に当たったりして被害を被ることがあります。
- 小さな破片が落下した場合、下にいる人に当たったり刺さったりし、ケガを負わせる恐れがあります。
- 大きな破片の場合、下にいる人に当れば、ケガだけでなく、命に係わる事故となる恐れもあります。

#### 被害の発生を避けるための措置

強化ガラスの破片落下による被害をさけるために、  
板硝子協会では、次のような措置を推奨します。

##### 1.) 硝子が脱落しにくい施工法について

- シーリング材やグレーチングチャンネルによる施工は、破損時にガラスが脱落しにくい施工法ですので、お勧めします。

##### 2.) 強化ガラスの飛散防止措置について

次の部位に強化ガラスを使用される場合は、強化合わせガラスにする等の飛散防止措置をとられることをお勧めいたします。

- アトリウムなどの屋根、トップライトなど水平に近い状態で使用している、破損して脱落した場合に人がケガをする恐れがある場合。
- 一般の窓など垂直な壁面に使用する場合、破損して脱落したときにケガをする恐れがある場合。
- 枠を使用しない手摺など、破損時に人が転落する危険性がある場合。

#### 設計上のご提案

- ガラスが破損し、落下した場合に被害を避けるために、次のような措置をとられることをお勧めします。
- ガラスの大きな破片が、下まで落下しないように、**庇などを設置する。**
- ガラスの破片が落下する地点に、人が近づくことがないように、**グリーンベルトなどを設置する。**

#### ■ ヒートソーク処理について

強化ガラスは、製品寸法に切断したフロート板ガラスをガラスの軟化温度に近い約700℃で熱し常温空気により急冷・焼入れし製造します。ヒートソーク処理とは、一度出来上がった強化ガラスを、さらに300℃付近の温度で一定時間再加熱することにより、ガラス中に磁化ニッケルが含まれていた場合、その磁化ニッケルの性質を強制的に変化させ、体積を膨張させることで自ら破損させる方法です。この方法により、磁化ニッケルが含まれている強化ガラスの大部分がこの時点で破損します。この処理をすり抜けた製品は、その後磁化ニッケルの性質が変化せず、そのままの状態を保たれているものが大半ですが、環境温度の変化により、性質が変化し破損に至る場合もあります。強化加工後のヒートソーク処理は世界中のガラスメーカーにて実施されており、最も有効な自然破損対策であるとされています。しかし、JIS R 3206(強化ガラス)には明記されておらず、各ガラスメーカーが自主的に行っているのが現状です。